

## ～ ときめきタウン地域のがんばる人応援事業 ～

地元で活躍するアーティストやグループなど「地域のがんばる人」にスポットを当て、商店街の催事スペースを発表の場に提供し、地域コミュニティの強化を推進。出演者を入れ替え、1日に複数回イベントを開催するなどの工夫により、新規顧客の獲得と回遊性及び滞留時間の向上を実現した。

所在地：広島県東広島市西条町御菌宇4405  
 TEL：082-431-0331 FAX：082-431-0332  
 URL：<http://toki-meki.jp/>  
 組合員数：15名  
 商店街の類型：地域型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

当組合「通称ときめきタウン」は、平成12年に大型店を核とするショッピングセンター内に高度化資金を導入して共同店舗として設立された。組合員は地元の商業者15名で、文具、雑貨、美容、きもの、靴店等幅広い業種で構成されている。店舗の立地は、JR山陽本線の西条駅からバスで約10分の距離にあり、国道2号線と375号線の交差点付近に位置することから自家用車による来店が9割を超え、その大半は家族連れとなっている。一方、ときめきタウンはSCの正面玄関から一番遠い売り場となっており、回遊性の低さから顧客導線が途切れがちとなる課題を抱えているほか、375号線沿いには大型店の出店が相次いでおり、競争力の強化が喫緊の課題となっていた。

## 実施した事業の概要

本事業では、フロア中央部のときめき広場を地域の学生・団体の発表や交流の場として活用し、地域コミュニティとの絆を強め、ときめきタウンの回遊性向上を図った。

## ①「コスカレードinときめきタウン」（平成26年8月31日開催）

広島県内のコスプレイヤー約30人がアニメやゲーム等のキャラクターの衣装で「ときめき広場」に集合し、来場者にその写真を撮って応募してもらう「写真コンテスト」を行った。コスカレードとは「コスプレ」と「マスカレード（仮面舞踏会）」の造語。普段の生活から気分を切り替え、もう一人の自分を解放して欲しいという意味がある。デジカメやスマートフォンで撮影した写真の応募は当組合のホームページ上に開設した特設サイトでを行い、投票の結果優秀作品には、SC内で使える買物券を提供した。優秀作の発表・展示はWeb上で約1ヶ月間行ったほか、若年層の誘客を狙ってSNSでもイベントのPRや開催状況を随時発信。コスプレイヤーはときめきタウンを移動しながら組合員店舗へ来場者を誘導した。



## ②ときめき広場 音楽ステージ（平成26年9月27日開催）

広島県内で活躍する三味線&太鼓ユニットと地元の出身で広島カープの応援歌の歌手が出演。「それいけカープ」の歌唱では、老若男女が一緒に盛り上がった。

## ③「和文化学習」等の発表会（平成26年11月8日・15日・29日開催）

東広島市内の小・中学校3校が、和文化学習の成果となる和太鼓や尺八、箏の演奏や茶会を催したほか、広島大学交響楽団による演奏、地元ダンス教室の発表会、広島県内で活動する音楽ユニットによるファミリーコンサートを連続開催。出演者の家族や知人など多くの来場者を集め、店舗での買物等にもつながった。

## 成果と成功の要因

広島で活躍するグループやアーティストなど「地域のがんばる人」にフォーカスしたこと。また「和文化学習」の発表の場など、東広島市の伝統文化継承の一助となるように取り組んだことで、地域コミュニティの担い手として、地元愛を持って活動している商店街というイメージの形成につながった。また「ときめき広場」は限られた区画（20坪程度）だが、出演者等を入れ替え、1日に複数回イベントを行う等の工夫で、より多くの地域の方やこれまで来訪のなかった県内外の方を集客し、回遊性や滞留時間も向上した。隣接道路の拡幅効果もあり、通行量は事業実施前より71%増、売上高は3%増となった。



## 今後の取り組み

今後は当地域の企業や団体等と連携したイベントを増やして行くほか、東広島教育委員会にも引き続き協力を仰ぎ、学校関連との連携を深め、地域密着の体制を固める予定。

資金の手当ては、「ときめき広場」の外部への貸し出しを積極的に行って利用料を有効に活用していくこととしており、催事実施による集客と「ときめきタウン」の回遊性及び売上高の向上を図って行く。